



Tips Enterprise版のセキュリティ機能をウィザードで簡単に設定してみよう。

設定ウィザードの概要

「設定ウィザード」を利用し、管理サーバやセキュリティ機能の設定を簡単に設定することができます。「設定ウィザード」で設定した項目は後から変更できます。セキュリティ制限時の動作確認後、運用に応じた設定に変更するとスムーズです。本書では下記の流れで、設定方法をご紹介します。

①セキュリティ設定準備



セキュリティ設定を開始する前に通信方式を選択し、各ディレクトリへのアクセス権限の設定を行います。

②設定ウィザードで設定



設定ウィザードを使用して管理サーバやセキュリティ機能などの設定を行います。

③インストーラ生成



管理者端末／利用者端末用のINSTANTCOPY Enterpriseインストーラを生成します。

④インストールと動作確認



生成したインストーラーで管理者端末にインストールし、動作確認する方法をご紹介します。

①セキュリティ設定準備

①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

③インストーラ生成

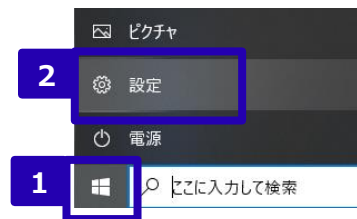
④インストールと動作確認

管理サーバは、INSTANTCOPY Enterpriseのログファイル転送先、設定変更/アップデート用設定ファイルの配置先となります。管理者端末/利用者端末からの通信方式として、FTP通信もしくはWindows共有のいずれかを選択できます。セキュリティ設定を開始する前に通信方式を選択し、WindowsユーザーIDと管理ディレクトリへのアクセス権限(読み取り/書き込み)の設定が必要です。

本書では、Windows共有を選択した場合の設定例(Windows10環境)をご紹介します。

1. ローカルアカウントの作成

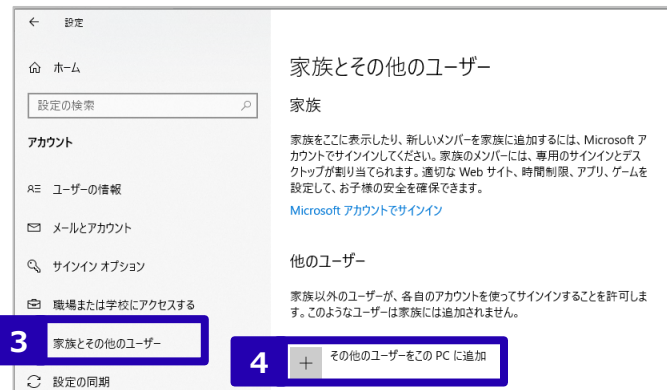
(1) **1** [スタート]- **2** [設定]をクリックします。



(2)設定画面で「アカウント」をクリックします。



(3) **3** 「家族とその他のユーザー」をクリックし、
4 「その他のユーザーをこのPCに追加」をクリックします。



①セキュリティ設定準備

①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

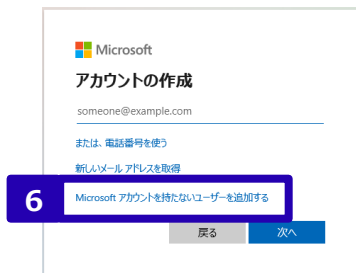
③インストーラ生成

④インストールと動作確認

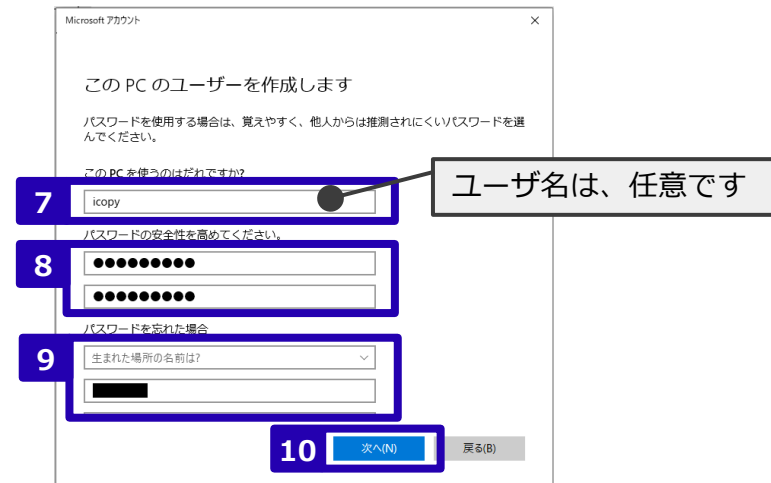
- (4) **5** 「このユーザーのサインイン情報がありません」をクリックします。



- (5) **6** 「Microsoftアカウントを持たないユーザーを追加する」をクリックします。



- (6) **7** 「ユーザー名」ボックスに「icopy (任意)」、**8** パスワードを2回入力します。**9** 「セキュリティの質問」ボックスをクリックし、表示された一覧から任意の質問をクリックして、該当する回答を「答え」ボックスに入力します。入力が完了したら、**10** 「次へ」をクリックします。



- (7) アカウントの追加は完了です。

①セキュリティ設定準備

①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

③インストーラ生成

④インストールと動作確認

2. 管理ディレクトリの設定

(1) Windows共有を利用する場合、手動でWindows共有ディレクトリを作成します。
共有名は必ず「ISec」で設定します。
例 D:¥ICOPY¥ISec

(2) (1)のフォルダを選択し、右クリックメニューからプロパティを選択します。

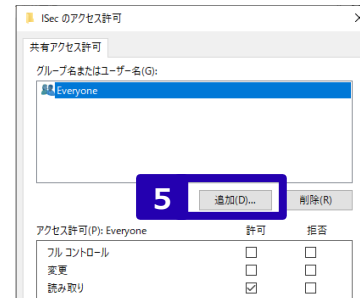
(3) **1**「共有」タブの**2**「詳細な共有」をクリックします。



(4) **3**「このフォルダーを共有する」をチェックし、
4「アクセス許可」をクリックします。



(5) **5**「追加」をクリックします。



①セキュリティ設定準備

①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

③インストーラ生成

④インストールと動作確認

- (6) **6** Windowsユーザー(例ではicopy)を入力し、
7 「OK」をクリックします。

ユーザーまたはグループの選択

オブジェクトの種類(S):
ユーザー、グループまたはビルトインセキュリティプリンシパル

場所の指定(F):
GREEN

名前: icopy

OK

6

7

<補足>

・ Windowsユーザー名は、下記の手順で選択できます。

- 1) **a** 「詳細設定」をクリックします。

ユーザーまたはグループの選択

オブジェクトの種類(S):
ユーザー、グループまたはビルトインセキュリティプリンシパル

場所の指定(F):
GREEN

名前:

詳細設定(A) a

a

- 2) **b** 「検索」をクリックし、「検索結果」に表示される
c 「名前: icopy」を選択した状態で **d** 「OK」をクリックします。

ユーザーまたはグループの選択

オブジェクトの種類(S):
ユーザー、グループまたはビルトインセキュリティプリンシパル

場所の指定(F):
GREEN

共通クリ

名前(A): 次で文字で始まる

説明(D): 次で文字で始まる

検索(N) b

検索結果(U):

| 名前 | フォルダ |
|-------------|-------|
| icopy | GREEN |
| INTERACTIVE | |

OK d

b

d

c

①セキュリティ設定準備

①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

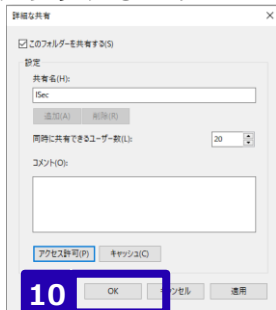
③インストーラ生成

④インストールと動作確認

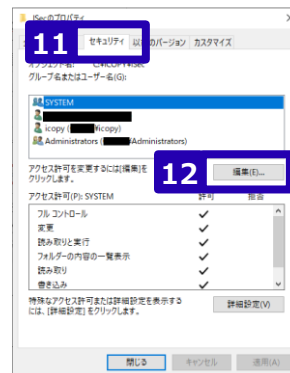
(7) ユーザー「icopy」のアクセス許可 **8**「フルコントロール」をチェックし **9**「OK」をクリックします。



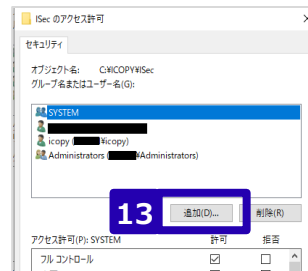
(8) **10**「OK」をクリックします。



(9) **11**「セキュリティ」タブの **12**「編集」をクリックします。



(10) **13**「追加」をクリックします。



①セキュリティ設定準備

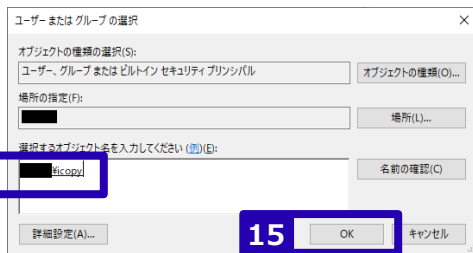
①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

③インストーラ生成

④インストールと動作確認

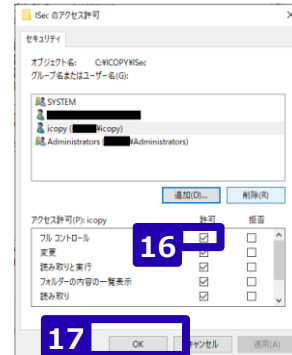
- (11) **14** Windowsユーザー(例ではicopy)を入力し、
15 「OK」をクリックします。



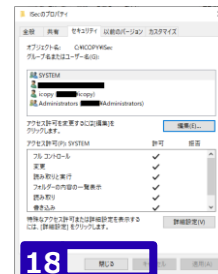
<補足>

- Windowsユーザー名は、(6)の<補足>と同じ手順で選択できます。

- (12) ユーザー「icopy」のアクセス許可**16**「フルコントロール」
をチェックし **17**「OK」をクリックします。



- (13) **18**「閉じる」をクリックし、画面を閉じます。



②設定ウィザードで設定

①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

③インストーラ生成

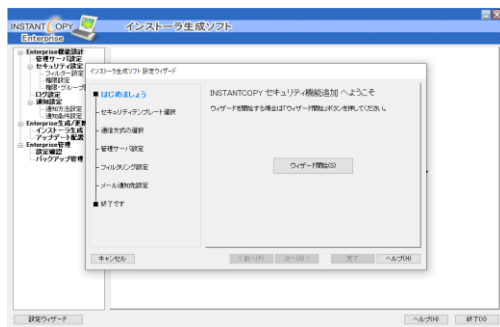
④インストールと動作確認

設定ウィザードを使用して管理サーバやセキュリティ機能などを設定します。

- (1) デスクトップ左下のスタートメニューから、インストーラ生成ソフトを開きます。

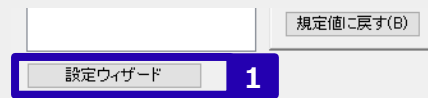


- (2) インストーラ生成ソフトの設定ウィザードが開きます。

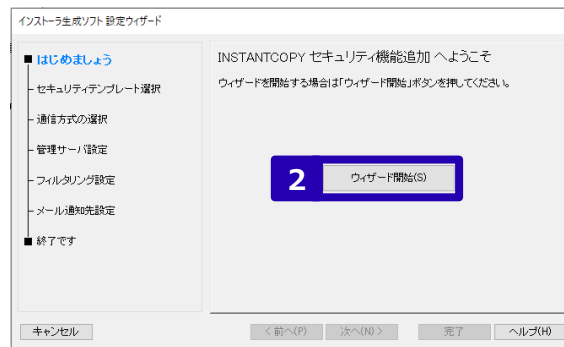


<補足>

※インストール後の初回起動時のみ「設定ウィザード」が自動で開きますが、開いていない場合はインストーラ生成ソフト画面左下の**1**「設定ウィザード」ボタンをクリックします。



- (3) **2**「ウィザード開始」ボタンをクリックします。



セキュリティ機能を使ってみよう (9/18)

②設定ウィザードで設定

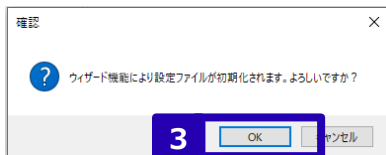
①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

③インストーラ生成

④インストールと動作確認

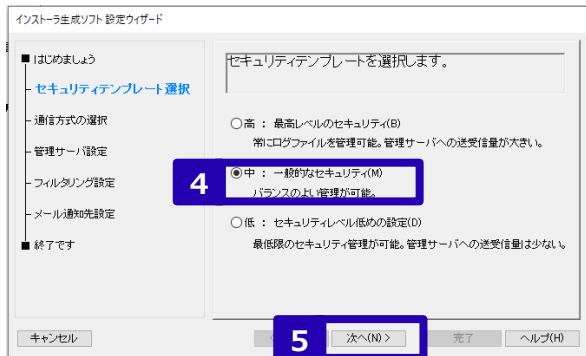
(4) **3** 「OK」をクリックします。



(5) セキュリティテンプレートは、デフォルトの

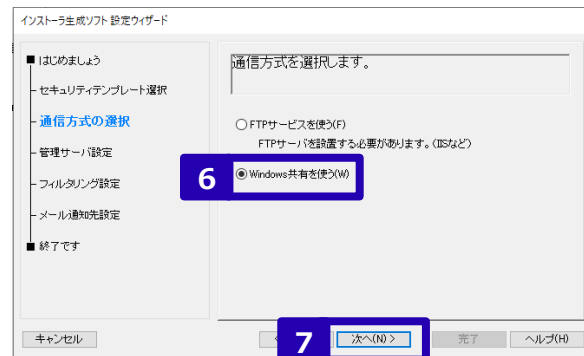
4 「中：一般的なセキュリティ」のまま、

5 「次へ」をクリックします。



(6) 通信方式は **6** 「Windows共有を使う」を選択し、

7 「次へ」ボタンをクリックします。



②設定ウィザードで設定

①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

③インストーラ生成

④インストールと動作確認

(7) 管理サーバ設定で、Windows共有に関する設定を行います。

- 8 「サーバホスト名」は管理サーバのコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。
(管理者端末と利用者端末を同一端末で動作させる場合はlocalhost または 127.0.0.1)
- 9 「ログインID (ローカルアカウント) とパスワード」は「セキュリティ設定の前に」で設定した値を入力します。入力後、10 「次へ」をクリックします。

インストール生成ソフト 設定ウィザード

■はじめましょう

■セキュリティテンプレート選択

■通信方式の選択

■管理サーバ設定

■フィルタリング設定

■メール通知先設定

■終了です

FTPサービス/Windows共有に関する設定を行います。

サーバホスト名(S) localhost

ログインID(I) icopy

パスワード(W) ●●●●●●●●

パスワード再入力(R) ●●●●●●●●

10 次へ(N) >

(8) フィルタリング設定は11「一般に禁止とされる文字列を事前に追加する」にチェックをつけたまま、12「次へ」ボタンをクリックします。

インストール生成ソフト 設定ウィザード

■はじめましょう

■セキュリティテンプレート選択

■通信方式の選択

■管理サーバ設定

■フィルタリング設定

■メール通知先設定

■終了です

フィルタリング文字列の設定を行います。

11 一般的に禁止とされる文字列を事前に追加する(F)

(ウィザード終了後、フィルター設定画面で変更可能です。)

12 次へ(N) >

②設定ウィザードで設定

①セキュリティ設定準備

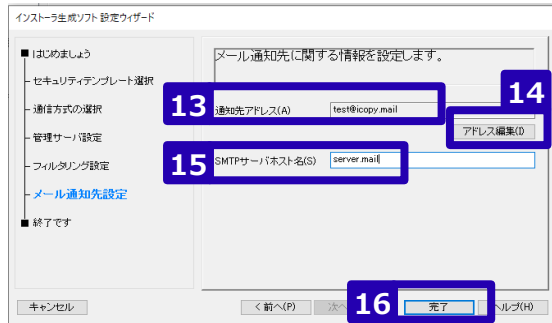
②設定ウィザードで設定

③インストーラ生成

④インストールと動作確認

(9) メール通知先設定を行います。

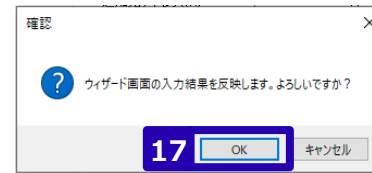
- ・ **13** 追加先アドレスに、通知対象となるメールアドレスを入力します。**14**「アドレス編集」ボタンをクリックし、メールアドレスを追加します。
- ・ **15** SMTPサーバホスト名に、メールサーバのSMTPサーバホスト名を入力し、**16**「完了」をクリックします。



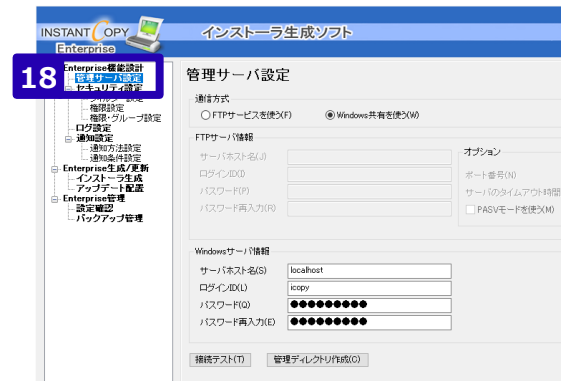
<補足>

- ・ 通知方法は「メッセージ」「メール」の2種類ありますが、設定ウィザードでは、通知方法が「メール」のみです。「メッセージ」を使用する場合は、ここではダミーの設定値を入力し、後で設定変更を行います。
- ・ メール SMTPサーバホスト名がわからない場合は、メッセージを選択してください。

(10) 確認画面で **17**「OK」ボタンをクリックします。
ウィザード画面が閉じ、設定が終了します。



(11) 詳細メニューから **18**「管理サーバ設定」を選択し、
管理サーバ設定画面を開きます。



②設定ウィザードで設定

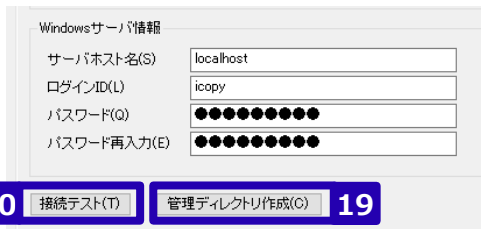
①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

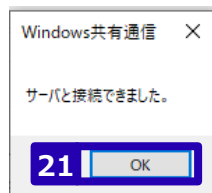
③インストーラ生成

④インストールと動作確認

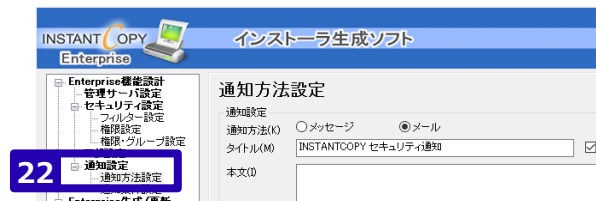
- (12) **19**「管理ディレクトリ作成」ボタンをクリックします。
これにより、利用する通信方式に合わせてINSTANTCOPYの動作に必要なディレクトリが作成されます。
更に、**20**「接続テスト」ボタンをクリックします。



- (13) 「サーバと接続できました。」のメッセージを確認し、**21**「OK」ボタンをクリックします。

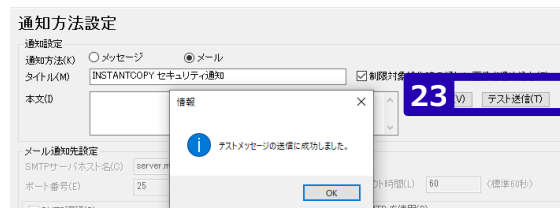


- (14)通知設定の動作確認をします。
22「通知設定-通知方法設定」をクリックします。



※通知方法をメッセージにする場合は、手順(16)へ

- (15) **23**「テスト送信」ボタンをクリックし、通知メールが送信できることを確認します。
※手順 (18) へ



②設定ウィザードで設定

①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

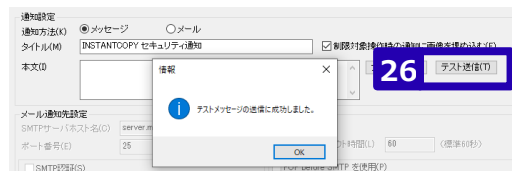
③インストーラ生成

④インストールと動作確認

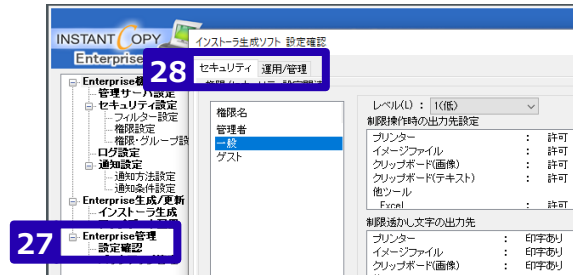
(16)通知方法を「メッセージ」にする場合、**24** 通知方法「メッセージ」を選択し、**25**「OK」ボタンをクリックします。



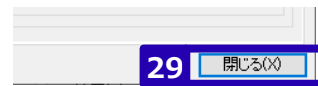
(17) **26**「テスト送信」ボタンをクリックし、通知メッセージが送信できることを確認します。



(18)詳細メニューの**27**「Enterprise管理-設定確認」で、設定内容を確認してください。
28「セキュリティ」「運用/管理」タブで画面を切り替えることができます。



(19)確認後、画面右下の**29**「閉じる」ボタンをクリックして終了します。



③ インストーラ生成

①セキュリティ設定準備

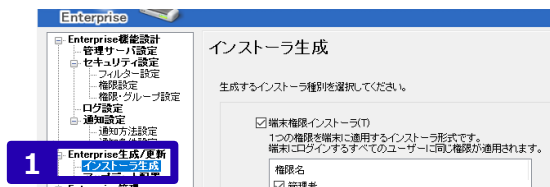
②設定ウィザードで設定

③インストーラ生成

④インストールと動作確認

管理者端末／利用者端末用のINSTANTCOPY Enterprise インストーラを生成します。

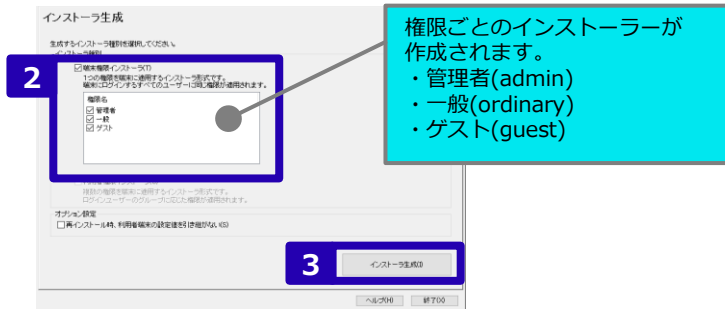
(1) 詳細メニューの **1** 「インストーラ生成」 を選択します。



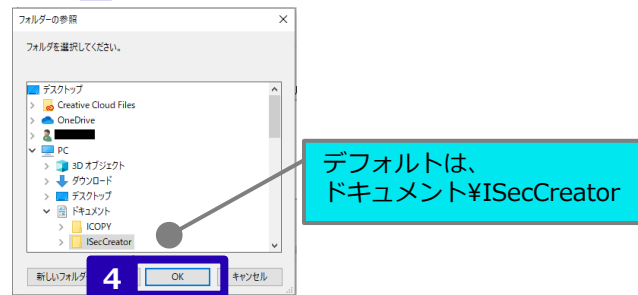
(2) 権限ごとにインストーラを生成します。

2 「端末権限インストーラ」 にチェックが入った状態で、

3 「インストーラ生成」 ボタンをクリックします。

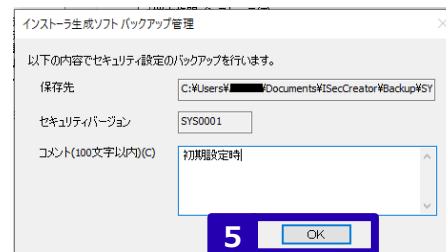


(3) フォルダを選択し、**4** 「OK」 をクリックします。



(4) セキュリティ設定のバックアップ画面が開きます。

必要に応じてコメントを入力し、**5** 「OK」 をクリックします。



③ インストーラ生成

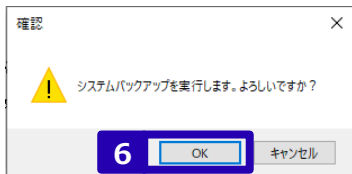
①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

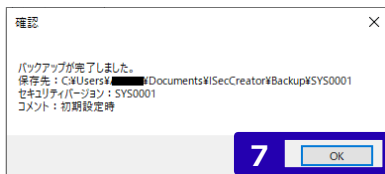
③インストーラ生成

④インストールと動作確認

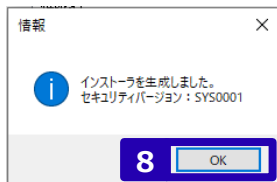
(5)確認画面で **6** 「OK」 をクリックします。



(6)確認画面で **7** 「OK」 をクリックします。
セキュリティ設定情報がバックアップされました。



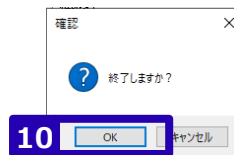
(7)情報画面で **8** 「OK」 をクリックします。



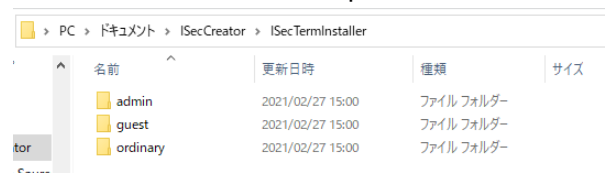
(8)画面右下の **9** 「終了」 ボタンをクリックします。



(9)確認画面で **10** 「OK」 をクリックし、インストーラ生成を終了します。



(10)インストーラ生成で指定したディレクトリ配下の ISecTermInstaller に管理権限ごとのフォルダが作成されており、それぞれのセキュリティ設定情報を含んだインストーラー (setup.exe) が格納されます。



④ インストールと動作確認

①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

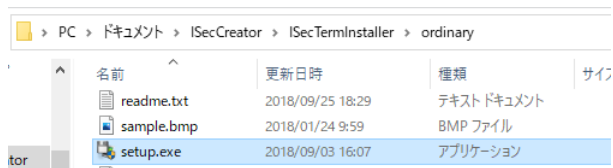
③インストーラ生成

④インストールと動作確認

INSTANTCOPY Enterpriseのインストールと動作確認をします。

ここでは、例として「一般 (ordinary) 」権限のインストーラーで、管理者端末にINSTANTCOPY Enterpriseをインストールし、キャプチャー実行時の動作確認方法をご紹介します。

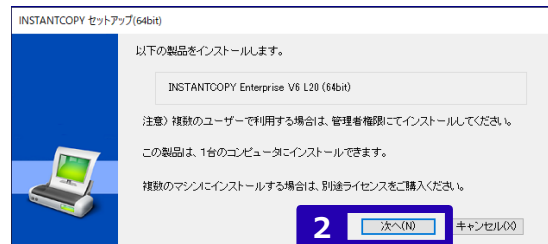
(1)一般 (ordinary) フォルダー内にあるsetup.exeをダブルクリックします。



(2)ユーザーアカウント制御画面で **1**「はい」をクリックします。



(3)インストール画面で、**2**「次へ」をクリックします。



(4)インストールフォルダーを入力し、**3**「次へ」をクリックします。



④ インストールと動作確認

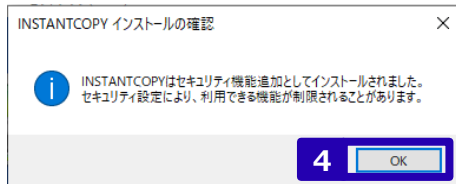
①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

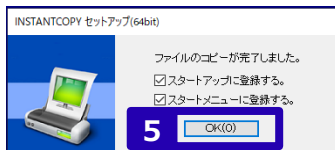
③インストーラ生成

④インストールと動作確認

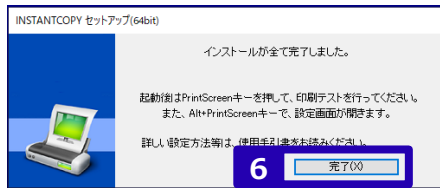
(5)確認画面で **4** 「OK」 をクリックします。



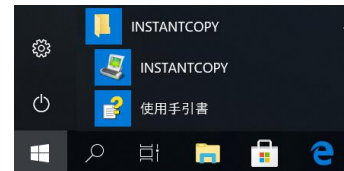
(6)コピー完了画面で **5** 「OK」 をクリックします。



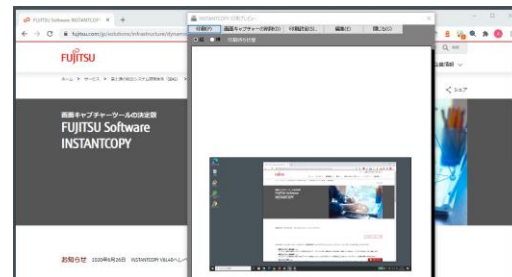
(7)インストール完了画面で **6** 「完了」 をクリックします。



(9)インストール完了後、INSTANTCOPYは起動していません。
スタートメニューから、INSTANTCOPYを起動します。



(10)動作確認のため、任意の画面を開き、[PrintScreen] キーを押下します。キャプチャーできることを確認します。



④ インストールと動作確認

①セキュリティ設定準備

②設定ウィザードで設定

③インストーラ生成

④インストールと動作確認

(11) 次に、制限操作を確認するため、Wordなどで「社外秘」を含む画面を作成し、[PrintScreen]キーを押下し、制限操作時の動作になることを確認します。

今回の例では、画面内に文字列「社外秘」が含まれるため、出力プリンターへの出力は許可されますが、キャプチャーした画面には「コピー禁止」の透かし文字が印字されたことが確認します。

